

「啓発録」橋本左内（幕末の志士）

夙志を抱け！」

皆さん！

幕末の志士、あの安政の大獄にて処刑された橋本左内がなんと、15歳の時に書いた文章です。今で言うと、人生の目的ですかね。

すごいですね！

26歳で処刑され、吉田松陰と共に、優れた人物といわれた人です。

1.立志 (志を立てよ)

自分を育てるのは自分である。

強く正しい人間になるためには、自ら進んで自分を鍛えよう

2.振気 (気を振るえ)

人生はすべてに勝つことである。

誘惑に勝ち、誘惑に勝ち、苦難に勝ち、自分に打ち勝つ根性を養おう

3.勉学 (学に勉めよ)

物を学ぶことは、人間として成長するためである。

学問、技能の習得を通じて道徳心を磨き、人格を高めよう

4.去稚心 (稚心を去れ)

他人に甘える事無く、独立独行の精神を尊重し、自分の足で歩ける人間になろう

5.択交友 (交友をえらべ)

軽薄な人間は友とするには足りない。

勇気と根気、和敬の心を備えた礼儀正しい人間を友として選ぼう

橋本左内は啓発録の中で、「立志」について次のように述べてます。

志を立てるといのは、自分の心の向かい赴くところをしっかりと決定し、一度こうと決心したからには真直ぐにその方向を目指して、絶えずその決心を失わぬよう努力することである。志を立てる上で注意すべきことは、目標に到達するまでの道筋を多くしないことである」

まず、初めに、志を立てる。

・・・本来はそれが本当の教育ではないか、と感じております。

志は天から降ってくるものではない。

自分で探し出すものである。

先輩、上司、本当の友とは、

「志を掲げるように」応援するものです。

「志を掲げる」と信頼できる人生の友が現れます。

・・・自然に気づくんですね。

「人生とは目的を探すもの」とソクラテスが言っております。

「目的とは思うものだ」と五木寛行は書きます。

・・・目的なき人生は、希望がない未来ですね。・・・